

# 令和の幸手スタンダード授業5 with GIGA

—子供たちの学びの姿を見取り、確かな力を育成する—

主体的・対話的で深い学びを実現する授業  
～ゴールを明確にしてブラッシュアップ～

個別最適な学び・協働的な学びを実現する授業  
～ICTの強みを活かして学びの質を高める～



## 心のスイッチ

I

『学ぶ準備はできているか』⇒学ぶ意欲を高める  
●学ぶ**気構え・心構え**をつくることで、本気で授業に臨むようにする。  
(授業に向かう『挨拶』、『姿勢』、『学習の用意』等)

学習ログの確認や映像提示で、子供の意欲喚起に活かせる  
例) Teams→ファイル→単元を通して1つのデータに全員の振り返りを  
入力→導入時に提示  
例) 大型提示装置に教師用端末の映像を**一斉提示**



必要に応じて  
すぐ使えるよう、  
端末の準備

II

『何を学んでいるのか』⇒課題や見通しをもたせる  
●『問いを見つける力』を高め、子供が**自ら学習課題を設定**できる  
ようにする。  
●**対話**によって**協働**を生み、思考を深める。  
●子供が**自ら**、学習課題を**追究**できるようにする。

## 問題・課題を知る

子供一人一人の考えを**収集・整理・分析**できる  
例) オクリンク→カード(ワークシート) 画像・動画・ファイル・WEBリンクを  
貼り付けて1枚のワークシートを作成  
例) Forms→アンケート集約→全児童生徒の考えを**集約・提示**

III

『問題・課題をどう解決していくのか』⇒ひとりで・みんなと・先生に  
●多様な**形態**(一人、ペア、グループ等)で、思考を深める。  
●多様な**方法**(話し合い、既習事項を活かす等)で、考えを繋ぎ、  
紡ぎ、学びの輪を全体に**広げられる**ようにする。

## 一人で考え、共に深める

音声・画像・データを**繰り返し見(聞き)返せる**  
例) オクリンク→LIVEモニタリング→子供の状況把握→ヒントカードを  
個別に送信  
例) ムーブノート→テンプレート→**思考ツール**を使った課題解決

IV

『何が解り、できるようになったのか』⇒目標から達成度を押さえる  
●子供が**自ら**、分かったことを**まとめられる**ようにする。

## まとめ

従来よりも**広い範囲**に対し、**時間を問わず**提示できる  
例) オクリンク→カード→書き込んだカードを提出→**全体**で画面共有  
例) ムーブノート→ひろば→グループ毎にひろばを作成し、グループで自由  
にカードを動かしながら**意見をまとめる**

V

『何を、どのように学んだか』⇒自分の取組を振り返り、次に生かす  
●子供が**自ら**、**学びを自覚化**できるようにする。

## 振り返り

データを**蓄積**でき、**教師の見取りや評価**に活かせる  
例) ムーブノート→深い学び→友達のカードをもとに、**自己の変容**を認知  
例) ムーブノート→キーワード集計→振り返りを書かせて、**狙ったキーワード**  
を集計し評価

最低5分!

## 定着・発展

探究学習 ～「みんなで同じことを同じように」からの脱却～

- 自分なりの**問い立て**、やり方、答えを引き出すようにする。
- 先生や仲間**的確なフィードバック**を行うようにする。
- 教師は、「探究」の**サポート、ガイド役**に徹する。



家庭学習 ～指導の個別化と学習の個性化～

- 授業で学んだことを**定着・活用**できるようにする。(ドリルパーク)
- 各々の**特性・学習到達度**に応じた課題を提示する。
- 各々が**興味・関心**のある内容にも取り組ませる。



“教師の**凡見徹底**” 誰一人取り残さない授業の**土台** (教師の関わり方・授業づくり)

### 子供との関わりを深める『はひふへほ』

- は: 話し上手・言葉にこだわる (言語環境)
- ひ: 引き出し上手 (子供の話を傾聴する)
- ふ: ふれあい上手 (子供に寄り添う)
- へ: 変身上手 (子供のために演じる)
- ほ: ほめ上手 (効果的に喜びを伝える)



### 子供たちが生き生きと学ぶ授業づくりの前提

- 信頼関係**に基づく学級づくり (肯定的・共感的な人間関係づくり)
- 学習規律**の浸透 (話し方、聴き方、学習用具等)
- 本単元・題材・本時を通した『**何ができるようになるか**』の確認
- 教材・教具**の工夫 (教師間・異校種間での連携、指導の系統等)
- 既習事項と、その**定着状況の把握** (全国・県学調、レディネステスト等)



### 2nd GIGAの『キーワード』

- タブレットを**フル活用** (マストアイテムとしての文房具)
- クラウド活用**を前提として学びを**自己調整**
- 児童生徒**一人一人**が**主語の複線型**の学び

